

請 願 文 書 表  
(令和2年第1回定例会)

請 願 第 1 号	令和2年2月13日受理
付 託 委 員 会	文教経済常任委員会
件 名	令和4年4月に現阿蘇中学校の位置に、施設一体型の小中一貫校を開校できるよう強く要望する件
紹 介 議 員	正 田 富美恵 議員      林      隆 文 議員 林      利 彦 議員      河 野 慎 一 議員 塚 本 路 明 議員
請 願 要 旨	<p>現在私たちの地域では、「阿蘇・米本地域小中学校の学校適正配置方針の変更」について、令和元年5月より八千代市教育委員会から説明を受けているところです。過去を振り返りますと、これまでも私たちの地域では「もえぎ野」の宅地造成に伴う阿蘇小学校の増築に関する検討や、米本団地の少子化に伴う米本小学校の複式学級への懸念に対する検討等、八千代市及び八千代市教育委員会から説明を受けてきました。</p> <p>「八千代市学校適正配置の方針」の趣旨については、全国的な視点から今後の学校教育のあり方としては理解していますが、地域住民及び保護者の立場から阿蘇・米本地域の現状や今後の展望を考えると、変更案のままでは大変不安に感じる点が多いので、少しでも保護者や地域住民の理解を得る最終決定をしていただきたく、下記の点について再度ご検討くださるようお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>令和4年4月に現阿蘇中学校の位置に、施設一体型の小中一貫校（義務教育学校）が開校できるよう強く要望します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阿蘇小学校は創立146年、米本・米本南小学校は創立50年を迎え、それぞれが地域に根差した伝統校です。これまでの伝統を大切にしつつ新しい地域コミュニティーを構築していくためには多くの住民の理解が必要です。その理解を促す上でも、新しい学校に対する明るい将来への展望や期待感は欠かせません。施設一体型の小中一貫校であれば、それらに応える提案となります。</li> <li>・教育委員会が示している「施設分離型の小中一貫校」では、小中学生の交流はもとより、教職員の交流、PTA会員の交流、さらには地域協力者の交流</li> </ul>

請 願 文 書 表  
(令和2年第1回定例会)

の点において、物理的・精神的な距離感が生じることは明白です。また、説明会での先行事例に基づく「分離型」における教育効果の説明も、施設一体型を選択しない合理的な理由とは考えられません。

- ・米本小学校の児童数減による複式学級への懸念、将来の米本南小学校の児童数減への懸念は深刻です。また、阿蘇小学校の児童数増に対する教室等の施設不足も同様です。令和4年4月には、現阿蘇小学校の校舎では通常の教育環境が確保できなくなってしまう。
- ・教育委員会が最終的に目指している施設一体型小中一貫校（義務教育学校）の設置が前提で、現在の米本南小学校の位置に小学校3校を統合することは、施設改修や環境整備の点で予算の有効活用とはいえません。当初の案のように阿蘇中学校の位置に義務教育学校を設置するのであれば、現米本南小学校の改修に予算計上するよりも現阿蘇中学校の改修に予算計上する方が理にかなっていることは、誰の目にも明白ではないでしょうか。改修や整備のための予算に限りがあるのは十分承知していますので、通学支援バス等による登下校の安全確保に十分ご配慮をいただきながらも、現時点においては、与えられた予算の範囲内でご対応いただくことは地域住民もやむを得ないと考えております。

八千代市ならびに八千代市教育委員会が阿蘇・米本地区の現状や住民環境を十分勘案した上で、これまで以上に適切な判断をし、最終決定してくださるよう、重ねて切にお願いいたします。